

月高だより

北海道札幌月寒高等学校
第 33 号
令和 6 年 8 月 26 日発行
発行者 校長 三 村 素 道



この夏、フル稼働の簡易クーラー

■ **熱い夏の熱中症対策** 北海道の夏も以前では考えられないほど、気温が上昇するようになりました。そのような中で、気をつけなければならないのは熱中症です。暑い日には毎日のように熱中症で緊急搬送されたというニュースが流れます。本校では、6月末に各クラスに2台ずつ窓枠型簡易クーラーが設置され、大型の扇風機と併せて活用されています。本格的なエアコンほどの冷房は難しいですが、やや過ごしやすくなります。なお、本校では、環境省から発表される「熱中症予防情報」及び、校内各所に設置されている暑さ指数の表示される温度計を参考に、熱中症防止に対応しています。校内のいずれかの箇所において、簡易クーラーが稼働していても危険とされる31℃を超えていたり、熱中症警戒アラートが発表された場合には基本的に臨時休校を検討します。また、暑さ指数予報が28℃を超える場合には、本人や家庭の判断でジャージでの登校を可能にするとともに、夏季略装期間については授業中も水分補給を可能にするなどの対応を行っています。家庭においても、学校においても、安心安全に生活できる環境が大切です。

■ **定時制 進路学習** 7月4日、定時制にて、ハローワーク就職ナビゲーターの方を講師に招き、4年生が最近の就職動向や就職活動の際に必要な留意点の説明を受けました。実際にオンラインを使って、企業の求人票を検索する方法や読み込みのポイントなどの説明など非常に実践的な内容でした。7月1日から高卒生の求人情報が解禁となり、生徒たちも真剣そのものでした。



話を聞きながら、自分の進路を考える生徒たち



白樺高等養護学校における作業中の様子

■ **白樺高等養護学校 視察研修** 7月12日、定時制の職員が、白樺高等養護学校の視察研修をしてきました。今や高校では、全日・定時によらず、障害の有無にかかわらずに、一人一人の教育ニーズにあった方法を模索しながら集団の中で学びを保障していく必要があり、合理的配慮も求められています。大人でも分野によって得意・不得意があるように、生徒たちにも、それぞれ特性があります。学校生活の中で、「困り感」を抱えることもあります。そういった生徒に対する具体的な対応法を学ぶことができ、教員にとって、とても良い学びの機会になりました。

■ **全日制 2 年生 大学ガイダンス** 7月15日、全日制2年生が北海道青少年会館コンパスで実施された大学ガイダンスに参加しました。当日は道内外50校の大学と2つの専門学校のブースが設置され、それぞれのアドミッション担当者から大学等の説明を受け、進路選択の参考としました。



熱気あふれるガイダンスの様子



盛花をアレンジする生徒たち

■ **定時制 就業体験** 「朝起きて、昼働いて、夜学校」を合い言葉としている定時制の生徒たちの多くが日中アルバイトをしています。7月18日、現在アルバイトをしていない生徒及びアルバイトをしていても体験を希望する生徒を中心に、介護や保育など地元の企業や施設等を中心とする9つの職場に協力いただき、就業体験をしました。実際に働く体験を通して、「人とかかわり」や「地域に育てられている」ということを強く感じたようです。普段からアルバイトをしている生徒たちは、町内5カ所の公園でゴミ拾いボランティアを行い、近隣の環境美化に協力しました。

■ **定時制 避難訓練** 7月19日、定時制で火災を想定した避難訓練を行いました。ただでさえ災害の中避難するのは困難と危険を伴うものですが、暗い中で災害が起こると、その困難さや危険性は倍増します。自分や他者の命を守ることが、最優先です。危機管理という部分では、地震や台風、洪水などの自然災害、交通事故や犯罪などの人的災害、SNSを発端とした事件や事故なども考えられます。学校だけでなく、家庭においても日ごろからの安全に対する意識は大切にしなければなりません。



足早に非難する生徒たち



自分のテリトリーを飛び出してみよう

■ **定時制 1 学期終業式** 7月22日、定時制で1学期終業式が行われました。校長の話の中では、以前訪れたロンドンの画像や動画をスライド形式で示しました。海外は、高校生の彼ら彼女らにとってまだピンと来ないかもしれませんが、今自分がおかれている環境が私たちのすべてではないことや、自分が普段過ごしている学校や家庭、友人関係などのテリトリーを飛び出してみると、そこには新たな世界が広がっていることなどを感じてもらいました。是非、長期休業である夏季休業では、少し勇気を出して今までとはちょっと違う経験をしてもらいたいものです。それが、自分の視野や人生観を広げてくれるチャンスになるのかもしれません。

■ **全日制 休業前集会** 7月24日、全日制では、高温、熱中症対策のため今年度から28日間となった夏季休業に先立ち、全日制各学年で休業前集会が行われました。それぞれ学年ごとに学年主任や各担当の先生方から様々な話がありました。特に、3年生は「受験の天王山」ともいわれる夏休みを迎えることになります。暑さ、そして自分自身との天下分け目の闘いの成果が秋以降に少しずつ現れてくることになるでしょう。人生の中では何回か本気になって我武者羅に努力する時期というものがあるものだとも過去を振り返って感じます。各学年とも、しっかりと目標を持った28日間を過ごすことができたでしょうか。



受験生の心と身体について



全国大会に出場する各部の生徒たち
志を抱き、世界を悠々と羽ばたいてもらいたいものです。

■ **全日制 全国壮行会** 夏季休業前に全日制では全国壮行会が行われました。女子ハンドボール部は8月7日から久留米市にて、水泳部は8月17日から佐賀市でそれぞれ行われる全国高等学校総合体育大会に出場しました。将棋部は8月1日から、囲碁部は8月4日から、それぞれ岐阜県で行われる全国高等学校総合文化祭に出場しました。（それぞれの結果は下記参照）本校では、駐車場側の道路沿いに「羽ばたけ鴻鵠、全国に！」と書かれた懸垂幕を設置しています。本校生徒会誌のタイトルである「鴻鵠」は中国の有名な歴史書である司馬遷の「史記」に由来しています。鴻・鵠共に大きな水鳥を意味しますが、鴻鵠本来の意味は大空を悠々と羽ばたく大鳥という意味です。意を転じ、大志を抱く人という意味でもあります。全日制、定時制ともに月高生たちには、大

全日制 夏期講習 三者面談 7月26日～30日の5日間、前期講習ということで1～2年生は英語・数学・国語を中心に、3年生は理科・社会・情報を含め共通テスト対策を中心に行いました。3年生は、8月1日～5日の後期講習と合わせ10日間の取組となりました。今年度から各教室に簡易クーラーが2台設置されたとはいえ、暑い真夏の時期。生徒も先生方も流れる汗をものともせずに取り組んでいる様子が見られました。

また、夏季講習に平行して、保護者面談、特に3年生は希望進路に関する三者面談が行われました。担任の先生は各種資料をもとに、どのような進路を選択していけば良いか、本人、保護者と相談している姿があらわこちらで見られました。



真夏の暑さもなんのその

■ 羽ばたけ鴻鵠、全国に～全道・全国大会での月高生の活躍

部活名	大会名	期日	結果
ダンス	第17回日本高校ダンス部選手権ダンススタジアム北海道大会（札幌市）	7/27	スモールクラス 優勝（全国大会出場）、ビッグクラス 3位入賞
将棋	第48回全国高等学校総合文化祭将棋部門女子団体（高山市）	8/1-8/2	1回戦 月寒 3-0 上野丘（大分）、2回戦 月寒 2-1 白陵（兵庫）、3回戦 月寒 2-1 八重山（沖縄）、4回戦 月寒 3-0 岡山工業（岡山）決勝トーナメント 1回戦シード、準々決勝 月寒 2-1 金沢大学附属（石川）、準決勝 月寒 1-2 駿台甲府（山梨）全国3位
囲碁	第48回全国高等学校総合文化祭囲碁部門（高山市）	8/4-8/5	1回戦 北海道選抜 2-1 和歌山選抜 2回戦 北海道選抜 1-2 山梨選抜
女子ハンドボール	高松宮記念杯第75回全日本高等学校ハンドボール選手権大会（久留米市）	8/7-8/13	1回戦 月寒 15-48 高岡向陵（富山）

■ 今後の行事予定

	全日制	定時制
9月	3-6 前期期末考査、14 進学講習、19-20 スポーツ大会、27 前期終業式、28 進学講習、30 後期始業	6 学校祭（ボーリング）、12 石狩支部生活体験発表大会、26 生活体験発表大会校内発表会、25-27 2学期中間考査
10月	3 避難訓練、4 芸術鑑賞、15-19 2学年見学旅行、21 2学年振替休日	8 北海道高等学校定時制通信制生徒 生活体験発表大会、11 生徒会役員選挙、18 生徒会役員認証式

● 本校ホームページもご覧ください。←

<http://www.sapporotsukisamu.hokkaido-c.ed.jp/>←



● 本校への応援やご意見などのメッセージなどを右のQRコードまたは、下のアドレスよりお寄せください。←

<https://forms.gle/iD4cobHyvqSNvGGy7>←

